

平成20年度地域ICT利活用モデル構築事業 成果報告書

実施団体名 東白川村

代表団体名

事業名称 国産材利用向上による地域経済振興事業

1. 事業実施概要

東白川村では、国内住宅建築の外材利用の拡大と、住宅建築の受注の減少により、村内所得の低下に陥り、「地域の破綻」という課題を抱えている。

このため、住宅建築のニーズを把握し、住宅建築受注の課題を解決し、ICTを活用した国産材を利用した住宅建築の受注を拡大させるシステムを整備する。具体的手段として、村内建築業の営業窓口の一本化と、自由間取り描画と概算建築費リアルタイム表示（自由設計間取りを入力した場合の国産材を利用した住宅建築価格のリアルタイム概算建築費の付与）を可能にするウェブシステムを構築し、目標となる「アクセス900回/月」を達成した。

2. 目標の進捗状況

指標	目標値	結果の数値	達成状況	計測方法・出展等
ウェブアクセス	900回/月	1124回/月	○	アクセスカウンターの読み取り

3. 達成状況が△又は×の場合はその理由

<委託業務説明書>

1 平成20年度事業実施において明らかとなった課題

協議会を重ねる中で、地方の建築を業とする中小の工務店の置かれている状況は、想像以上に厳しい経営環境にあること。それを誘発している原因が、

- ① 木造建築（国産材利用住宅）が、潜在的イメージとして高価であると思われること。
- ② 木造建築（国産材利用住宅）が、「和風住宅」であると思われること。
- ③ 優良な国産材の販売窓口である工務店に対して、経営指導や戦略指導の機会が少ないこと。

など、社会全体として改善する働きかけがないと、この部門の産業は、小規模工務店を淘汰し、メーカーや大資本企業に飲み込まれていくと識者の多くが予測していることを、村の予測として持つことが出来た。

このような閉塞感のある状況の中、国産材利用向上による地域経済振興事業では、今後の国産材を利用した住宅建築において、目標とするビジョンを持ち、そのための戦略の基礎を作り、行動していく基盤が整った。

2 自律的・継続的運営の見込み

平成20年度は、概算建築費の算出に特化した整備を行ったので、継続的な運営の見込みが確立されるには、21年度事業完了後となるが、現時点でも、

- ① 概算建築費をリアルタイムで知ることができる仕組みの価値
- ② 30～40代に対して、国産材をふんだんに利用したデザイン住宅を提供するコンセプトの価値
- ③ 設計士や工務店をユーザーの視座で選択できることの価値
- ④ 明朗な積算や清算を行う姿勢の価値

これらの新しい戦略を評価する声は大きい。

平成21年度の機能の拡充と付帯サイトの構築で自律的・継続的運営の見込みを確実にできるものと考えている。

3 今後の展開方針

現在、構築された概算建築費算出システムを拡充し、

①(間取り描画システム拡充)

建築希望者が思い描く構想を、ウェブ上で図化するシステムに選択アイテムを追加する。

②(概算建築費算出システム拡充)

間取り描画で作成された図を基に、国産材等の利用建材を選択させ、リアルタイムで概算建築費を表示するシステムに追加されたアイテムの建築費算出を加える。

③(マイページ機能)

個々会員登録者向けにサービスを提供し設計士、工務店の窓口となるマイページコンテンツ

④(利用説明)

間取り描画や会員登録、シュミレーションの使い方を説明するコンテンツ

⑤(総合管理機能)

ウェブサイト管理者が会員登録した住宅建築希望者に対するサービスや登録する設計士、工務店の情報を管理するコンテンツ

⑥(設計士、工務店管理機能)

会員登録した住宅建築希望者に情報を提供する設計士、工務店が自らプロフィールやコメントを発信する機能

⑦ ウェブサイトの情報コンテンツ作成

東白川の建築、国産材、工務店など、建築全般にわたる情報公開コンテンツで、安全安心につながる情報を提供する機能。

【国産材紹介コンテンツ】国産材の魅力をさまざまな角度から説明。

【工務店紹介】各工務店でそれぞれページを配置し、特徴や施工例などを紹介。

【公開間取りの閲覧】公開状態の作成間取りを掲載する。新着順や閲覧数やコメントに応じたランキングで間取りシュミレーションへの参加意欲を高める目的も兼ね備える。

【モデル住宅紹介コンテンツ】国産材を使用することのメリットを訴求する為に過去の建築例を紹介する。時間が経つほどに増す風合いを、写真を中心に紹介する。

【家作りコンテンツ】家が完成するまでに「考えること、やること、注意すること」など、さまざまな工程を紹介する。

【棟梁紹介コンテンツ】東白川村を代表する棟梁の素顔とコダワりに迫るコンテンツ。

【シュミレーションの説明】間取り作成・概算シュミレーションの説明方法や特徴の説明。

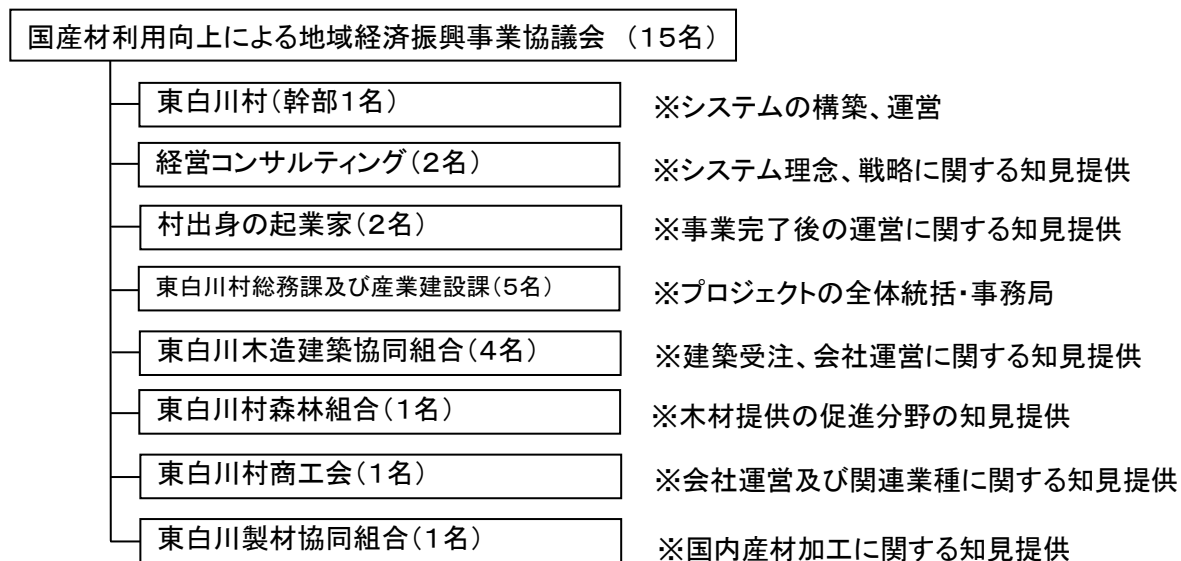
【スタッフブログ】サイト運営スタッフのブログ。MT などブログソフトを利用することを想定。

【こだわり掲示板】「国産材で家を作る」というこだわりをテーマにした双方向コミュニケーションの為に掲示板。

以上を整備し、国産材の利用向上による地域経済活性化に努める。

<実施体制説明書>

1 実施体制



2 各主体の役割

No	名 称	役 割
1	東白川村	システムの構築、運営
2	経営コンサルティング	システム理念、戦略に関する知見提供
3	村出身の起業家	事業完了後の運営に関する知見提供
4	東白川村総務課及び産業建設課	プロジェクトの全体統括・事務局
5	東白川木造建築協同組合	建築受注、会社運営に関する知見提供
6	東白川村森林組合	木材提供の促進分野の知見提供
7	東白川村商工会	会社運営及び関連業種に関する知見提供
8	東濃ひのき白川プレカット協同組合	国内産材加工に関する知見提供
9	東白川製材協同組合	国内産材加工に関する知見提供

事業実施進行表

実施内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H21 1月	2月	3月
協議会等設立・ 準備会合		→							
協議会等開催			△			△		△	△
システム構成の 検討・決定				→					
システム構築に 係る競争入札						→			
システム設計							→		
システム稼働								→	
報告書作成									→

その他

本事業により構築したウェブサイト又は本事業を掲載したウェブサイト

[1] <http://218.216.195.22/> [間取り描画、概算建築費算出サイト]

[2] <http://218.216.195.22/admin/admins/> [管理者管理サイト]

平成20年度地域ICT利活用モデル構築事業 システム設計書

実施団体名：東白川村

代表団体名：

事業名称：国産材利用向上による地域経済振興事業

1 概要

東白川村では、国内住宅建築の外材利用の拡大と、住宅建築の受注の減少により、村内所得の低下に陥り、「地域の破綻」という課題を抱えている。

このため、住宅建築のニーズを把握し、住宅建築受注の課題を解決し、ICTを活用した国産材を利用した住宅建築の受注を拡大させるシステムを整備する。整備内容として、トップページ、間取り描画システム、概算建築費算出システム、併せて、ユーザー認証、マイページ機能、ユーザー管理などの構築を行った。

間取り描画システム及び、概算建築費算出システムでは、ユーザー個人が思い描く住宅像を図化できることを可能にし、概算建築費算出システムでは、国産材を使った場合の建築費をリアルタイムで提示することを実現した。

ユーザー認証では、再度、修正や閲覧を行うに必要な登録情報を格納し、他者が情報を犯すことのないようセキュリティーを盛り込んだ。また、ユーザーの個別が利用できるマイページは、工務店や設計士に対して相談ができたり、アドバイスを受けるなど双方向のコミュニケーションを可能とした。

ユーザー管理機能では、システム全体の掌握や権利関係をコントロールすることを可能とした。

2 運用結果

間取り描画システム、概算建築費算出システムを利用して公開された間取り図は、これまで、各工務店が相当の時間と営業経費をかけて情報収集していたもので、こうした建築を希望するユーザーの希望する建築像の掘り起こしが飛躍的に時間、コスト共に短縮した。

また、マイページ機能は、潜在的な建築希望ユーザーへのアプローチを自然な形で実現しただけではなく、建築意思決定前のユーザーに対して、質問やアドバイスを行えることを可能にした。

3 課題・改修の必要性

間取り描画システム、概算建築費算出システムでは、すべての建築を希望するユーザーの利用要素の作りこみには至っておらず、アイテム数の増加や、概算建築費の精度を高めることは、今後ユーザーの利用増大には不可欠な要素となるため、機能強化や質の向上の必要がある。

4 その他

特になし